

第9回ハイキングは神奈川県中央部の仏果山に高取山経由で登りました。参加者7名。当初の天気予報では前後は好天気ながら10月1日のみ雨天ということで悲観的な見方をしていたが、好天のハイキング日和でした。小田急線・本厚木駅前より神奈中バスにて9.20発。

ハイキング出発地点の「ふれあいの村・野外センター」付近では真紅の彼岸花が咲き乱れ、途中の山道ではススキが風に揺られ、いかにも秋の山という風情でした。若干色づき始めた樹木もありましたが紅葉にはまだまだ。ここの紅葉は11月後半がピークということですが、鮮やかな紅葉が期待できそうです。緩やかな斜面を登り、うっそうとした樹林帯を抜けしばらく行くと高取山。山頂からは半原の町並から相模平野、遠く東京のビル街、横浜ランドマ-クタワ-や赤城山まで望めた。更に展望台に登れば、宮ヶ瀬湖、さらに大山から丹沢主脈と360度の眺望。湖畔でよく見る宮ヶ瀬湖の地図を眼下にして実感。濃緑色の神秘的な湖面の色彩が湖畔の木々に一段と映え、山頂からは湖面がほとんど見えなかった分、その別世界に感嘆・絶句。高取山からアセビの目立つ稜線を辿り仏果山へ。宮ヶ瀬越えを過ぎ、アップダウンを繰り返し、ロープを張った急斜面を登りきった稜線をわずかに行ったところが仏果山。周囲の樹木が成長し最近では山頂からの展望はありませんが、展望台に登れば高取山に劣りません。相模湾、江ノ島も眺められ、新宿副都心の先にスカイツリ-も遠望。仏果山からの下りは急斜面で足も疲れ、年ごとに体力の衰えを感じる程でした。

事前のコース区分毎の時間配分とは異なりましたが、出発時間と解散時間はほぼ計画通りで本厚木駅前4時ころ着。解散後の恒例のピ-ルは良く冷えており、ことのほかでした。仏果山は一般には丹沢山系に入りますが、丹沢の他の山々に比べ登る人も少なく、今回も途中で出会う人も比較的少なく、静かな山歩きでした。(記：ハイキング同好会 川島)

【参加者】

横浜支部	望月(35C)	原澤(41M)	草場(修45E)
厚木市部	奥野(36C)	関根(38C)	栗原(48E)
川崎支部	川島(38C)		



高取山山頂にて



関東平野遠望(高取山山頂)



絶景(高取山展望台)



大山近景(仏果山尾根道)